



M E X T

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

資料 3

# 産学協働人財育成円卓会議について

---

三遠南信地域産学官人財育成円卓会議

平成25年2月1日  
文部科学省高等教育局専門教育課

# 「产学協働人財育成円卓会議」とは

平成24年12月10日  
产学協働人財育成シンポジウム  
鎌田薫共同座長代理説明資料

<狙い>

オールジャパンの視点からの  
戦略的产学協働による人財育成



- ◆大学教育の役割の認識の転換と再構築
- ◆人財育成の好循環サイクルの構築

→こうした理念に共鳴する企業・大学が結集し、  
平成23年7月に発足

# 「产学協働人財育成円卓会議」参加者メンバー

## 企業側(20社)

石原 邦夫 東京海上日動火災保険株式会社 取締役会長  
檜田 松瑩 三井物産株式会社 取締役会長  
江頭 敏明 三井住友海上火災保険株式会社 取締役会長  
大橋 洋治 全日本空輸株式会社 取締役会長  
大八木 成男 帝人株式会社 代表取締役社長執行役員  
川崎 秀一 沖電気工業株式会社 代表取締役社長  
◎川村 隆 株式会社日立製作所 取締役会長  
○北山 祐介 株式会社三井住友銀行 取締役会長  
小林 栄三 伊藤忠商事株式会社 取締役会長  
志賀 俊之 日産自動車株式会社 最高執行責任者

下村 節宏 三菱電機株式会社 取締役会長  
數土 文夫 JFEホールディングス株式会社 相談役  
高橋 恭平 昭和電工株式会社代表取締役会長  
(一般社団法人日本化学工業協会会長)  
佃 和夫 三菱重工業株式会社 取締役会長  
永山 治 中外製薬株式会社 代表取締役会長 最高経営責任者  
松下 正幸 パナソニック株式会社 代表取締役副会長  
三浦 惺 日本電信電話株式会社 取締役会長  
三村 明夫 新日鐵住金株式会社 取締役相談役  
山下 徹 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 取締役相談役  
渡辺 捷昭 トヨタ自動車株式会社 相談役

## 大学側(12大学)

有川 節夫 九州大学 総長  
○鎌田 薫 早稲田大学 総長  
佐伯 浩 北海道大学 総長  
里見 進 東北大学 総長  
清家 篤 慶應義塾長  
瀬口 道成 名古屋大学 総長

◎濱田 純一 東京大学 総長  
平野 俊夫 大阪大学 総長  
松本 紘 京都大学 総長  
三島 良直 東京工業大学 学長  
山内 進 一橋大学 学長  
山田 信博 筑波大学 学長

※メンバー・役職等は、平成24年10月時点

◎:共同座長、○:共同座長代理

## 【議論のポイントとなった事項】

- ①大学教育の質の向上と産業界との効果的な接続
- ②グローバル人材の育成・確保
- ③知の拠点である大学を活用したイノベーション人材の育成
- ④産学の人材交流・流動化の促進



- ◆一方で、产学の間の相互理解・情報共有に課題があることも認識
- ◆人財育成に関する認識の共有が図られる

# 「アクションプラン」とは？

平成24年12月10日  
産学協働人財育成シンポジウム  
鎌田薫共同座長代理説明資料

人財育成の好循環の構築には、画一的・横並び的対応ではなく、おののおのの主体が具体的アクションを起こすことが必要



円卓会議の趣旨に賛同する企業・大学が今後取り組むべき事項を「**7つのアクション**」として提示

→業種や事業分野、これまでの取組状況に応じ、着手可能なものから実行に移すことが期待

# 产学協働人財育成円卓会議「アクションプラン」の概要 (H24.5.7)

## 【新しい日本社会を牽引する人材像】

- 我が国が、新たな成長と発展を遂げるには、世界を舞台に活躍できるタフネスとグローバルな視点を併せ持ち、我が国の「新たな価値」を創造できる人材育成が決定的に重要。
- 世界を舞台にリーダーシップを発揮して活躍できるグローバル人材、既成概念にとらわれないアイデアやモデルで「新たな価値」や「解」を創出するイノベーション人材の2つを主に議論。

→「大学教育の質の向上」「産業界との効果的な接続」の重要性にも言及

### ○大学に期待する取組:

「タフな学生」の育成、主体的に考える力・課題発見能力等の養成、リベラルアーツ教育の充実等。

### ○企業に期待する取組:

採用の早期化・長期化の是正、求める人材像の明確化と発信、学生の学びの適切な評価・活用。

# 产学協働人財育成円卓会議「アクションプラン」の概要 (H24.5.7)

## 【企業・大学による7つのアクション】

業種や分野、これまでの取組状況等に応じ、各企業・大学において、着手が可能となったものからスピーディに実行

アクション1:  
世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成のための教育を充実・強化します

アクション5:  
社会に新たな価値や成長モデルを創造するイノベーション人材の育成・活用を充実・強化します

アクション2:  
日本の若者が積極的に海外留学・海外経験ができる環境づくりに取り組みます

アクション6:  
共同研究・協働作業を通じた人材の育成を行うとともに、人材の流動化を促進します

アクション3:  
世界中の優秀な若者が、日本で学び、働きたいと思う環境づくりに取り組みます

アクション7:  
我が国の明日を担う若者への奨学金等経済的支援の充実に取り組みます

アクション4:  
グローバル化に対応した大学の教育環境整備に取り組みます

## 【今後、政府に求められる取組】

- 産学官協働のプラットフォームの構築に向けた取組を進め、一つの社会運動として継続的に推進。
- 大学の基盤的経費の安定的な財源確保、産学協働による人材育成や研究開発、奨学金の拡充など。

# 円卓会議が提示するアクションプラン

平成24年12月10日  
産学協働人財育成シンポジウム  
鎌田薫共同座長代理説明資料

## アクション1

### 世界を舞台に活躍できるグローバル人材の養成のための教育を充実・強化します

＜事例＞

「グローバル・リーダーシップ・プログラム」（早大）

米国の大学に学生を1年にわたり派遣。同時に米国からも学生を受入れ、日米共同ゼミでグループプロジェクトに取り組む。

## アクション2

### 日本の若者が積極的に海外留学・海外経験ができる環境づくりに取り組みます

＜事例＞

「学生の帰国のタイミングに合わせた採用」（各企業）

海外大学の卒業生を対象にした7月採用／10月採用など、選考時期、採用時期の柔軟化を目指す事例。

# 円卓会議が提示するアクションプラン

平成24年12月10日  
産学協働人財育成シンポジウム  
鎌田薫共同座長代理説明資料

## アクション3

### 世界中の優秀な若者が、日本で学び、働きたいと思う環境づくりに取り組みます

＜事例＞

「自動車工学の最先端技術をテーマとする夏季集中講座」（名大）

大学教員と企業研究者の協力の下、すべて英語で自動車工学の各分野について学ぶほか、日本人学生と留学生による混成グループで自主研究に取り組む。

## アクション4

### グローバル化に対応した大学の教育環境整備に取り組みます

＜事例＞

「セメスター制の見直し」（早大）

次年度以降、一部の学部にクオーター制を導入することで学事暦の国際通用性を高め、国際交流と体験型授業の一層の活性化を図る。

# 円卓会議が提示するアクションプラン

平成24年12月10日  
産学協働人財育成シンポジウム  
鎌田薫共同座長代理説明資料

## アクション5

### 社会に新たな価値や成長モデルを創造するイノベーション人材の育成・活用を充実・強化します

(① 育成の充実・強化、② 採用・活用の充実・強化、③ 企業人材の育成の高度化)

#### <事例>

「多様なキャリアパス確保のための支援体制の充実」（多くの大学）

大学内にキャリア開発支援拠点を設けて専門職員をコーディネーターとして配置し、企業との協力関係の開拓に当たる。

多数の企業を協力を得て、セミナーや交流会の開催、研究開発を中心とする長期インターンシップの実施などに取り組む。

「フォトンサイエンス・リーディング大学院」（東大）

国内外の先端光関連企業との連携による講義、国内外の優秀な大学院生の確保のための奨励金の支給。

「米国内の研究所でのインターンシップ」（三菱電機）

全世界から集まった博士課程学生・P Dが、新しいアイディアを実証するための試作システム開発に従事。

## アクション6

### 共同研究・協働作業を通じた人材の育成を行うとともに、人材の流動化を促進します

#### ＜事例＞

「材料デバイス基盤協働研究所の設置」（パナソニック）

大学内に共同研究拠点を設置し、両者が対等な立場から研究を展開。その場にPDや大学院生を研究者として参加させることで、若手研究者の訓練の機会としても活用。

## アクション7

### 我が国の明日を担う若者への奨学金等経済的支援の充実に取り組みます

#### ＜事例＞

「グローバル人材スカラシップの創設」（日本経団連）

帰国後の企業への就職を前提に、交換留学等で8ヶ月以上にわたり海外大学で学ぶ者を資金面で支援。

- ◆参加企業・大学が、着実に人財育成の取組を推進
- ◆取組について積極的に発信



社会全体として「産学協働で人財を育成する」気運を盛り上げる

- ◆産学で協働で取り組むべきテーマを議論する3つのワーキングチーム(WT)を編成

- 産業界や社会をリードする社会人の育成について考えるWT
- 専門性を活かして新たな社会価値を創出できる人材の育成について考えるWT
- 社会の変化に対応し、先取りできる学生の育成について考えるWT

円卓会議の詳しい内容はこちらまで



産学協働人財育成円卓会議ウェブサイト

([http://www.mext.go.jp/  
b\\_menu/shingi/chousa/koutou/46/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/46/index.htm))